

2026年1月14日

各 位

会社名 株式会社コレックホールディングス
代表者名 代表取締役社長 栗林 憲介
(コード番号: 6578 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役副社長グループCFO 西崎 祐喜
(TEL: 03-6825-5022)

(開示事項の経過) 再発防止策の進捗に関するお知らせ

当社は、2025年9月11日付「再発防止策の策定に関するお知らせ」において公表しましたとおり、再発防止に鋭意取り組んでおります。

このたび、本日時点における再発防止策の具体的な進捗状況について、下記のとおりご報告いたします。

1. 再発防止策の進捗

(当社における改善策)

(1) 子会社監督機能の改善によるグループガバナンスの強化

- ① グループガバナンス強化に向け、強化項目のリストアップと方針を策定しました。現在、それぞれの強化項目について、具体的なタスクの落とし込みとスケジュール化について、外部の専門家を交えて検討しております。グループの経営会議については、2025年10月以降、毎月開催しており、当社の社内取締役、常勤監査役、執行役員等に加え、全事業子会社の取締役も出席し、グループ全体での連携強化を図っております。
- ② 2025年9月以降、コンプライアンス・リスクマネジメント委員会を定例取締役会後に毎月開催するよう変更しました。同委員会には取締役会メンバーに加え、技術本部長や内部監査室長等が出席しており、取締役会メンバーが漏れなく情報収集できる仕組みを構築しております。

(2) グループ全役職員のガバナンスに対する意識改革

- ① 2025年9月に当社代表取締役よりグループ全役職員に対して、トップメッセージを発信いたしました。また、2025年10月からは、代表取締役と常勤監査役が各子会社幹部との定期面談を実施し、各社のリスク認識と今後の対策について協議を行っております。
- ② グループ全役職員を対象としたコンプライアンス研修を2025年9月に実施いたしました。また、当社役員および子会社役員に対しては、2025年9月に外部弁護士等の専門家による役員研修を実施しております。内部通報制度につきましては、2025年9月以降、社内報等の社内ツールを通じて活用方法の周知を継続しております。

(3) 管理体制の見直しと強化

- ① 2025年9月以降、管理部門の人員を8名増員し、管理体制の強化を図りました。また、外部会計事務所に協力を依頼し、経理プロセス見直しによる管理体制強化を実施しております。内部監査については、2025年10月の取締役会にて修正監査計画を承認し、助成金申請業務を重点監査項目に追加いたしました。三様監査については2025年11月に実施し、監査法人と協議の

上、会議運営方法の改善を図っております。

- ② 社外取締役および常勤監査役については、採用活動を進めており、候補者の目処が立っております。
- ③ 2025年11月の取締役会において、投資・出資（M&A）規程を改定いたしました。現在は改定された規程に沿って運用を行っております。

（エネルギー事業子会社における改善策）

（1）助成金申請業務にかかる業務プロセスの見直し

- ① 助成金申請マニュアルおよび業務フローの作成を行いました。また、親会社である当社の内部統制推進部による助成金申請のダブルチェック体制の構築も完了し、運用を開始しております。
- ② 助成金額を顧客に提示するまでの業務フローを再構築し、見積書の様式改定を行いました。2025年10月より、各子会社管理部による確認を経た見積書のみを使用する運用を開始しております。
- ③ エネルギー事業子会社（株式会社A o i e、株式会社C-c l a m p）の全役職員を対象として、助成金制度の説明会および理解度テストを実施いたしました。今後も継続して実施する予定です。

（2）顧客相談窓口の設置

- ① 顧客相談窓口を設置し、相談内容を記録する体制を整備いたしました。2025年10月より、顧客訪問時に相談窓口記載の名刺を交付する運用を開始しております。さらに、顧客との契約後、各子会社管理部から顧客へ電話連絡を行い、契約内容の確認および名刺受領の確認を行うよう周知徹底しております。

株主・投資家の皆様をはじめ、関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを、心より深くお詫び申し上げます。引き続き信頼回復に向けて全社一丸となり再発防止策に取り組んでまいる所存ですので、何卒ご理解賜りますようお願い申し上げます。

以上